

第3回 地産地消の会 3名参加  
平成30年9月14日 13:30~14:30  
於：日新地域公民館 和室

主な話し合いの内容（★＝団体、◎＝市長）

★「地産地消の会」の団体及び活動の紹介について。

「地産地消の会」は今年の7月につくった団体であり、これから活動していく団体であるので、これまでに会員の方が取り組まれてきたことについて紹介。

- ・10年くらい前から、戸田地域の遷喬ファームがつくっているお米を使った米粉のパンを製造販売している。また、給食のパンを保育園に納めたり、パンづくり教室を開催するなどの活動をしている。
- ・2年くらい前から、アレルギーの方にも食べてもらえるように米粉100%のパンをつくっている。
- ・昨年からは米粉100%のお菓子もつくっている。
- ・今後について、地元の食材を使ってカフェをやりたいという思いがある。また、子育て世代のお母さんがいきいきと活動できる場所や地元の方と交流ができる場所があればいいなと考えている。

◎事業の展開について、閉校した校舎を利活用するということがご検討の中に入っていると聞いている。ぜひうまくお話が進んでいけばと思っている。

★来年から地元のものを使ったパンやお菓子をアレルギーの方だけでなく多くの方に食べてもらえるようなカフェをしたいと考えている。当初は自宅を改装する予定であったが、ドッコイセ！bizで相談にのっていただいたところ、「閉校した校舎を利用するのはどうか」とアドバイスをいただいた。もし、利用することができれば可能性も広がるし、会員同士で話し合いをしてもいろんな案が出ている。また、他の事例を見るとすごく楽しそうである。ぜひ利用させていただけないかと考えている。

◎地域の中でみなさんが取り組まれているさまざまな活動はとても大事なことだと考えている。行政もさまざまな事業や施策を行うが、まずはみなさんに「やろう」と思ってもらっていただくことが大事だと思っている。そこを後押しさせていただきたい。

◎今の時点で福知山市で閉校した校舎の活用で具体的に計画のないのは、旧夜久野町内の2つの小学校と上六人部小学校の3校である。将来であれば、三和町や大江町でも統廃合により空きが出てくると想定はしている。学校の利活用については、基本的には地域の中で方針が決まらないとか民間の事業者から提案がない場合はサウンディング調査を行う。いずれにしても、学校は地域にとっては思いの深い、核となる拠点であるので、地域の方に理解してもらうことは重要なことだと考えている。

★例えば、民間の企業の方が申し入れをすることはできるのか？また、私たちが使いたいと申し入れをした場合、買い取りになるのか？

◎サウンディング調査での提案の中でお話しいただく内容になる。詳細等についても、一度担当課である教育総務課にもご相談いただければと思う。また、地元との調整は欠かせないものである。地元にもどういった形で使いたいかという話を一定していただく必要はあると思う。学校以外にも施設はある。そちらについては、資産活用課に聞いていただければお答えさせていただく。

◎こういった形で進めていかれるのがよいかは、産業支援センターにも相談しながらやっていただければと思う。本当に一生懸命やっていただいている。何回相談していただいてもよいので。

★相談にもものっていただけるし、ありがたい窓口である。全然わかっていない私たちでも本当に親身になって相談にのってください。

◎同じ目線で相談してくださいとお願いしている。相談機関というのは結構敷居が高い。親身になって一生懸命やっていただいております、本当にありがたいと思っている。もっと多くの方に産業支援センターを利用していただきたいと思っている。また、市ともうまく連携しながら進めさせてもらわなければならないと考えている。そういった意味では、みなさんにも十分利用していただきたいと思う。

